

ビジネスプロデュース力養成ワークショップ  
第8回ワークショップ 振り返りレポート

VIPS2018

◎第8回ワークショップ

日 時：2018年10月26日（金）10：00～17：30

会 場：静岡大学浜松キャンパス S-Port 大会議室

内 容：成果の確認、グループ発表、講演、グループテーマを終えて



（1）最初に事務局より、開会のあいさつと、事務連絡がありました。

（2）江田講師より、本日の進め方に関して話がありました。

・午前中の発表にて、VIPS2018は終了します。発表15分、質疑15分を目安に、グループ発表を行います。

・発表は、グループワークによって何を考えたか、何を気付いたかなど。

・順番を再検討し、当初の進行表とは異なり、B、C、Aグループの順で発表します。

（3）B、C、Aの順にグループから、進捗の報告がありました。

（4）稲田講師、山尾講師より、グループ発表に対する総評がありました。

・以上をもって、VIPS2018のワークショップは終了となりました。全体で記念撮影を行いました。

(5) 加藤講師より、ビジネスプロデュース力養成ワークショップ～参加者皆さんのお取り組みに寄せて～、と題して話がありました。

・コンサルタントの現場の悩み：input情報は変化しているのに、その情報処理は旧態の方法が適用されてしまいます。優秀な人ほど、これまでの方法や経験を活用してoutputしてしまう傾向があります。

・これまでのやり方Brief Systemにとられる傾向は、Scotomaと呼ばれています。

・VIPSは、Value Incubators Production Studiesの略。数年前に、加藤講師が高谷講師との打ち合わせで命名しました。インキュベータは作り出すこと、スタディーズは研究のことです。

・ワークショップとは、講師からの一方的な知識伝達ではなく、参加者が共同で学びあったり創り出したりする学びと創造のスタイルです（中野民夫、「ワークショップ」2001を参照）。

・事業化、ビジネスを描くために重要な観点は、ファインディング、フォーカス、課題抽出から始まります。

・whyを突き詰めていることが重要です。

・事業としていくために、役立つ、広まる、儲かる、育つ、という4つのレイヤーが大切。また、差別化、魅力化、共感・支持アップという三大要件が求められます。

・WhyからHow、そしてWhatを通じて、リアリティを詰めたストーリーとして、構想を語るものが大切です。

・参加した皆様のアウトカムを聞きたいと思います。ちなみに、アウトプット（出力結果）とアウトカム（獲得成果）とは異なるものです。

・次の4点について、セルフチェックを行ってほしいと思います。なぜ参加したか、参加して変わったのか、変わったポイントは何か（何が変化を阻んでいたのか）、新たな臨み方の切り口となったキーワードは何か（3つ）。

・最終回に当たって、参考図書が6冊紹介されました。

(6) 高谷講師より、グループワークを終えてと題して話がありました。

・VIPS2018で培ってきたスキルを確認します。次の8点があります。

・基本となるスキルが4点（分析、表現、考察、協働）

・課題を決めてグループワークを通して4点（傾聴、討議、構築、意思）

・受講に当たって当初に提出のあった期待・目的が示されました。

・当初の目的に対してどの程度まで接近できたか、当初の期待に対してどの程度カバーできたか、それぞれ自身に問いかけることが大切です。

- ・ VIPS2018 ワークショップでは、次の内容を進めてきました。
- ・ 第1回から第4回までの初動ステージでは、構想の起点や、コンセプトとターゲットの知識を得ました。会社の理念を紐解いて想いを知り、フィールドワーク、ラダーリングを通じたファイディングと仮説設定を行いました。
- ・ 第5回から第7回までの協働ステージでは、情報の整理・分析、構想案の創出を取り上げました。
- ・ 第8回の発表は協働に必要なスキルや自身の変化（成果）の自覚を確認しました。
- ・ 最終回にあたって、ストーリーを考える参考となる作家が3名。それぞれ著書が3冊ずつ紹介されました。

(7) 各グループ単位にて、まとめを行い、全員がピッチを行いました。

- ・ 一人ひとりがどのように変わったのか。
- ・ きっかけとなったキーワードは何か。

(8) 最後にジャーナルについての案内がありました。

- ・ 締め切りは、12月10日（月）。文字数は3,000文字以上、他の詳細は後日連絡予定

以上を終えて、第8回のワークショップを終了しました。



2018/10/26 (金) 開催

## ビジネスプロデュースカ養成ワークショップ（通称：VIPS2018）第8回

静岡大学 S-Port大会議室

### 【テーマ】成果の確認（発表）

（敬称略）

事務局：坪井秀次、山際美紀 サポーター：木村祐一

タイムテーブル	内容	担当
10:00 ~ 10:05	事務局連絡・講師紹介	事務局
10:05 ~ 10:30	本日の進め方	江田講師
10:30 ~ 11:00	グループ発表・質疑	Aグループ
11:00 ~ 11:30	グループ発表・質疑	Bグループ
11:30 ~ 12:00	グループ発表・質疑	Cグループ
12:00 ~ 12:20	総評	稲田講師 山尾講師
12:20 ~ 13:20	昼休み	
13:20 ~ 14:50	講演	加藤招聘講師
14:50 ~ 15:00	休憩	
15:00 ~ 15:30	グループワークを終えて	高谷講師
15:30 ~ 17:30	グループテーマでの気付き 何がどのように変わったか ジャーナルの執筆テーマを考える チェックアウト（個人発表）	受講者